

KLiS TODAY

No.
32

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

〒305-8550 つくば市春日 1-2 Tel 029-859-1110 Fax 029-859-1162
URL <http://klis.tsukuba.ac.jp/> E-mail klis-info@inf.tsukuba.ac.jp

ようこそ知識情報・図書館学類へ

中山伸一

1 年次 1 クラスのクラス担任をしております。加えてクラス担任の主査も務めており、今年度の新入生の皆さん全てが無事に本学類を巣立っていくのを見守る立場でもあります。さて、クラス担任になって大学におけるクラスなるものの存在意義について改めて考えてみました。クラス制度の最大のメリットは、交友関係を作りやすいということだと思います。100 名が一堂に会してもなかなか話を始めることはできませんが、25 人程のクラスなら限られた人数なので密なコミュニケーションが可能です。親友と呼べるような友を作ることができます。本学類は多くの地域から学生が集まってきており、ここで作られた交友関係は社会に出た時に結構強い力を発揮します。教員にとってもメリットがあります。本学類では皆さんのために、修学指導や学生支援の委員会を設置しておりますが、全ての学生を対象にしているため、目がゆきとどかない所もあります。クラス担任なら25 名程の学生に対応すれば良いので、学生との密なコミュニケーションが可能となり細かな配慮ができます。大学は学問をする場であり、研究をする場なのだから、コミュニケーションが何の役にたつのかと考える方もおられるでしょう。大学は高等教育機関であり、学生を教育することは社会から付託された目的の一つです。近年の教育では課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びを実現するというアクティブラーニングに注目が集まっております。そのためにはコミュニケーション能力が欠かせません。新入生の皆さんには、身近な友人とのコミュニケーションをクラス単位に広げ、さらに学類の同期生や上級生、そして来年度は下級生へと広げて、アクティブラーニングを実践していただきたいと思います。

(なかやま・しんいち 知識情報・図書館学類 教授)



新 1 年生からのメッセージ 筑波での新生活

三浦 凱人

入学してから2ヶ月が経ち、ようやく学校生活にも慣れてきました。情報基礎実習のレポートやサークル、遊びに追われて忙しい毎日ですが、充実した日々を送っています。この充実の源は、筑波でできた、たくさんの人との繋がりだと思っています。同じクラスの人や、サークルやクラ代の先輩、ゆかコンで知り合った人、色々な人と関わることで、日々、刺激を受けています。また、筑波は OB や地域から、多くの協力を得られるため、新しいことを始めるのにとっても適した場所だと感じています。まずは、春日エリアで過ごす 1 年生を対象とした免許合宿企画の幹事にチャレンジしています。初めてのことをするのは、リスクも大きいけれども、やりがいを感じています。これから4年間どんどん筑波でチャレンジしていきたいです。



友達とたこ焼きパーティ（真ん中奥が私）

（みうら・かいと 知識情報・図書館学類 1 年次）

生かすも殺すも自分次第

四家 武彦

目の当たりにする世界にただただ驚き圧倒され、また感謝と喜びの日々を送っています。学生として特に実感していることは、主体的な選択・決定・実行の重要度が大幅に増したことです。本学類で学べる内容は社会の広範な分野への応用が期待できると私は考えています。また部やサークル、各種イベントも筑波では無数に開催され選択の余地が大いにあります。しかし方法や道具が揃った中、それらにどう関与し得るものを得ていくかは私達一人ひとりの姿勢に委ねられているでしょう。せこくは生きないと心に留めています。何事も真摯に取り組み、必要なことややりたいことは遂行し、同期の皆さんと人としても学生としても一緒に成長していきたいと決意しています。



友人と自宅にて（右端が私）

（しけ・たけひこ 知識情報・図書館学類 1 年次）

人として成長できる場所

上野 瑛子

初めての一人暮らしを始めて約2ヶ月。私の部屋の本棚には、今まで集めてきた植物の本や明治時代の小説の隣に授業で使う参考書が並んでいます。全て私のお気に入りの本たちです。私は高校時代に授業を介して生物学と純文学の世界の魅力を知り、大学ではより多くの学問に触れ、今まで知らなかった世界の魅力を発見したいという思いでこの学類を志望しました。確かに授業は初めて知ることが多く、毎回楽しく受講しています。しかし、それと同じくらいクラスの友達やサークルの仲間たちと交流して新しい価値観に出会うことで非常に良い刺激を受けています。



私のお気に入りの本たち

筑波での生活を、授業では学問の視野を広げる糧に、他者との交流では心の視野を広げる糧にして、人として成長していきたいです。

(うえの・あきこ 知識情報・図書館学類1年次)

新天地

須賀 光紀

大学生活が始まって早くも3か月が過ぎようとしています。忙しくも楽しい日々を送っています。宿舍祭の実行委員になったり、クラス代表に立候補したり、新しいことにチャレンジする機会が増えました。新天地でたくさん友達ができ、たくさんの価値観に影響されるのが面白いです。大学は『勉強』の場ではなく、『学び』の場です。1年次はまだ必修科目が多いですが、来年以降はさらに自由度が効いてくるので楽しみです。また、サークル活動に精を出す傍ら、独学でプログラミング言語を学習しています。せっかくの4年間です。『突き詰めて忙しく、突き詰めて楽しく』をモットーに頑張りたいです。



入学式にて

(すか・こうき 知識情報・図書館学類1年次)

春の進学説明会を終えて

三浦 真帆

3月28日に行われた春の進学説明会で、プレゼンテーションと個別相談を行いました。プレゼンテーションでは、これから筑波大学を目指す高校生の皆さんに向けて、筑波大学での学び、そして知識情報・図書館学類での学びについて説明しました。特に授業の話などは、学生の目線から本当に役に立つ情報をお伝えしようと工夫を凝らしました。個別相談では、より深い内容の質問が飛び交いました。満足な受け答えが出来たかは不安ですが、本気で知識情報・図書館学類を目指している高校生がたくさんいることを感じ、とても誇らしく思いました。私自身も知識情報・図書館学類で何を学んでいるのか、改めて見つめ直す機会となり、とても充実した一日でした。

(みうら・まほ 知識情報・図書館学類 2 年次)



本人によるプレゼンテーション



本人と歳森学類長による個人相談

3 年次編入説明会を終えて

河本 毬馨

3 年次編入生への説明会において、大学院生代表としてお話をさせていただきました。私が編入試験を受けたのはかれこれ 4 年も前のことですので、試験当日の話などについては学類生の後輩たちにお任せし、3 年次編入から大学院へ進学するに至った経緯、研究の魅力などをお伝えしました。個別質問の時間には、「こういう研究がしてみたい」「将来こういう職に就きたい」という明確な目標を持った志の高い志望者の方と交流することができ、私自身も鼓舞される貴重な体験となりました。編入は試験準備がとても重要ですので、大変だとは思いますが踏ん張りどころです。また来年度、かわいい後輩が増えることを楽しみにしています。

(かわもと・まりか 図書館情報メディア研究科博士前期課程 2 年)

田中 八千穂

4 月に行われた 3 年次編入志望者のための説明会に、プレゼンターとして参加をしました。振り返れば、私も 2 年前のこの編入説明会に参加しこの大学へ編入しようという決意が固まりました。説明会には 30 名ほどの学生さんが参加し、説明を聞きながら熱心にメモをとる姿が印象的でした。また、説明会後の個別質問では時間を延長して対応する必要があるほどで、どの学生さんからも「編入したい」という強い熱意が伝わってきました。そんな熱意に圧倒されながらも、「わたしも 2 年前にこうした熱意を持って編入を決めたんだ」と、自らを振り返る機会になりました。来年度に、熱意溢れる皆さんが入学してくれることを楽しみにしています。

(たなか・やちほ 知識情報・図書館学類 4 年次)



本人によるプレゼンテーション

サバティカル報告

石井 夏生利

私は、2016 年 4 月から 1 年間のサバティカル（研究休暇）を取得し、カナダ・トロントにあるライアソン大学の法・経営管理学部に客員教授として約 1 年間滞在しました。滞在中は、図書館等で研究を行いながら、カナダのプライバシー関係の研究者が集まるシンポジウムに参加したり、プライバシー・コミッショナーの事務所等に出向いて訪問調査等を行いました。

生活について、トロントの夏期は日照時間が長く、1 日中パレードが行われたりしています。カナダ人は親切な人が多く、比較的接しやすかったと思います。冬は、3 月に大寒波が来て非常に寒い思いをしました。

最後に、サバティカルの機会を与えて下さり、授業や学内業務を私の代わりに担当して下さいました先生方に、この場を借りてお礼申し上げます。



ライアソン大学スチューデントセンター

（いしい・かおり 知識情報・図書館学類 准教授）

上保 秀夫



ロイヤルメルボルン工科大学

僕はみなさんの年頃るとき、「あー、はやく日本（なんてちっぽけな国）から出て行きたいなあ」と考えていました。今で言うところの中二病でしょうか。でも、そのお陰で、大学を卒業した後、足掛け 12 年ほど海外で暮らすことができました。その後日本に戻ってきて、しばらく真面目に生活していたのですが、そろそろまた海外で暮らしたくなってきたので、サバティカル休暇をいただき、オーストラリアの南東にあるメルボルンという都市に 1 年間滞在してきました。オーストラリアはとても大きな国でした。例えば、2000 年にオリンピックが開催されたシドニーという「となり」の都市まで、車で 10 時間もかかります。そうすると、それほど気軽に観光に行くわけにもいきません。ちっぽけな日本を出て広大なオーストラリアに来てみても、逆に広大すぎて行動範囲が限られるという結果になったのです。そんなことは実際に行ってみるまで考えてもみませんでした。自分で「実際に」行動し感じ考えたことが全てです。そんなことを改めて体験した一年でした。

（じょうほ・ひでお 知識情報・図書館学類 准教授）

学類誌 MILK 編集部

記事ができるまで

廣田 美香

こんにちは。今回は MILK の記事内容が決まるまでを紹介します。

知識情報・図書館学類誌 MILK は知識生による知識生のための雑誌で、学類生の興味があることを編集部が取材し、紹介しています。本学類生だからこそその視点を大切にしており、記事の内容も、それにそったものになるよう、考えています。

記事内容を決めるときには、そのような観点をおさえつつ、まずは記事の案をブレインストーミングしていきます。このときあげられるのは、「旅」「空」「本屋」など、とてもアバウトなもので、知識生らしさなどが薄いこともあります。このようなキーワードをどんどんと出していき、次号の構想が固まってくると、記事担当が振り分けられます。7月に発行される第11号では、私が天文研究会に所属していることから、「空」をキーワードとした記事を担当することとなりました。ここからは、私、個人のやり方ですが、記事の内容を固めるために、与えられたキーワードから連想ゲームをしていきます。そこで大事にしているのは、記事のキーワードと「知識情報・図書館学類」というキーワードの二つからはじめることです。知識情報・図書館学類から派生されるキーワードは「知識情報」「図書館」「システム」何でもありです。この知識情報・図書館学類から出てきたキーワードと、記事で与えられたキーワードをつなげることはできないだろうか、と考え、記事の内容を練っていきます。自分の中で、記事の案が出来上がると、編集部のメンバーに提案し、新たな視点からの案を貰いながら最終的な記事案が完成します。実はこの記事案の「案」の文字が消えるのは、記事が書き終わった後だと私は考えています。取材し、記事を書いていると、こっちの方がいいな、わかりやすいな、と感ずることがあるので、最初考えている記事の形と最終形が全く異なることもあるからです。今がまさにそれです。第11号では先述したように、「空」をテーマに記事を練り、取材をし、最終的な記事を書いています。今、だいぶ苦しみながら記事を書いているので、完成を是非楽しみにしててください。

(ひろた・みか 知識情報・図書館学類2年次)

MILK 編集部

Web http://klis.tsukuba.ac.jp/klis_milk/

Twitter @KLISMILK

来て見て感じる大学説明会

三浦 真帆

知識情報・図書館学類では、夏のオープンキャンパスに併せて8月5日（土曜日）に大学説明会を行います。大学説明会実行委員会は、その大学説明会に向けて様々な準備をする学生主体の団体です。こんなにも学生の意思と力で大学説明会を運営しているのは筑波大学の中でも知識情報・図書館学類だけだと自負しています。キャンパス内を学生が歩いて案内するキャンパスツアー。推薦、前期入試の体験談や、アパートと宿舍のメリットデメリットなど、高校生が気になる情報を学生自らプレゼンテーションするスチューデントトーク。研究室での学びを見学し、教授、大学院生などと直接話すことができるオープンラボ。などなど、注目の企画はたくさんありますが、なんといっても一番の目玉は昨年度から開催している「知る見る図書館」という企画です。自分のお勧めする本を時間制限の中で紹介し、オーディエンスに一番「読んでみたい」と思わせた人を勝者とする「ビブリオバトル」や、筑波大学の中にある5つの図書館をきれなく紹介する「図書館プレゼン」など図書館に関する話題が目白押しで、昨年度は教室に入りきれないほどのお客様に参加いただきました。今年度も知識情報・図書館学類ならではの企画を計画中です。ぜひお立ち寄りください。

大学説明会に来ることは、パンフレットで大学の情報を見ることよりももっとも価値のあることだと思います。私も、高校2年生の時に知識情報・図書館学類の大学説明会に参加し、活気溢れる学生の方々を見てこの学類を目指すことを決めました。スタッフは全員知識情報・図書館学類の学生ですし、学生に個人的な質問をすることができる相談コーナーも設けています。ぜひ、大学説明会に来て知識情報・図書館学類での生活を肌で感じてください。お待ちしております。

（みうら・まほ 知識情報・図書館学類2年次）

大学説明会の様子
（春日図書館）



Web ページもご覧ください。

http://klis.tsukuba.ac.jp/klis_students/